

## 半田商工会議所優良従業員表彰受賞!!

りんりんヘルパー 鈴木 昌子さん

9月16日、半田商工会議所「平成23年度会員及び会員事業所優良従業員表彰式」において、りんりんヘルパーの鈴木昌子さんが表彰されました。

鈴木さんは、それまでの仕事を辞め、時間にゆとりがあったのでボランティア活動をしていて、その後りんりんに入られたそうです。りんりんヘルパーとしてほぼ17年活躍されています。そして、りんりんです仕事をしながら2級ヘルパーの資格を取られたのです。

当日の鈴木さんのコメントです。

「表彰を受けるなんて思ってもいなかったので、青天の霹靂です。これからもお仕事をゆっくりやっていきたい。自分の身仕舞いに気を使う機会になっているし、細く長く続けて行きたいです」

鈴木さんおめでとうございました。



## 夏休みりんご便り

充実した夏休みでした!

昨年は、オープンしたてのりんりん茶屋でりんごクラブの精鋭キッズがお手伝いをしました。

今年りんりん職員が考えた、いろいろな楽しい企画を体験しました。県職員の若い研修生や2つの中学校の職場体験生も来て、子ども達はさまざまな人達とのふれあいがありました。

小学校のプールでは週4日泳ぎ、みんなよく日焼けしました。



プールで

毎週火曜日の“みんな de ランチ”ではバーベキュー・防災食・サンドイッチなどを作り、子ども達も少しずつ出来るが増えました。大きなケガや事故もなく無事過ごすことができ、ありがとうございます。 明子

平成23年(2011)10月

NO.49

発行/特定非営利活動法人 りんりん  
半田市岩滑高山町5丁目4番地  
TEL(0569)21-3646 FAX(0569)32-6623  
http://rinrin.or.jp E-mail npo@rinrin.or.jp

### ありがとうございます

皆さまのあたたかいご支援がりんりんを支えています。

### ご寄付ありがとうございます

休波 京子 水野 陽子 間瀬 勝也 榊原 照子  
榊原 幸宏 リ・ライフ (敬称略)

### 平成23年度賛助会員

竹内 晴美 原子 貞 村上 光男 杉浦智恵子  
加古 淳子 竹内 政子 鈴木 善一 黒野 佳子  
沢田ちえ子 沢田伊佐夫 小山 光 (敬称略)

りんりんでは  
笑顔寄せ合い健やかに  
昔話に花を咲かそう  
びんこう

## りんりんのできごと

### 研修会

6月 認知症ケア .....45名  
7月 「接遇対応の基本」感染症・食中毒の予防 .....47名  
8月 休み  
9月 事故の予防と緊急時の対応・再発防止 .....52名

	6月	7月	8月	9月
絵手紙	15名	11名	11名	6名
さをり織り	18名	12名	16名	32名
生き生きサロン	222名	162名	159名	166名
小物づくり	13名	13名	休み	15名

(延べ利用人数)



### 会員数

協力会員	利用会員	賛助会員	合計
107名	50名	47名	204名

(H23/9月現在)

特定非営利活動法人 りんりん



## 『第4回童話の村 秋まつり』～お宝発見～

ようやく彼岸花が鮮やかに土手を飾るようになり、嬉しさと華やぐ気持ちを抱いたとき、もう秋まつりの終わりでした。

暑さが続いたことと台風で茎ごと倒れたことが、花の見頃を遅らせた一因かもしれません。

今年は、新美南吉さんの初恋の人、木本<sup>みなこ</sup>咸子さんが嫁いだ遠藤家の離れの家を一般公開することができました。10年以上空き家になっていた家を地元の方々とりんりんが大車輪の働きで復元し、1000人あまりの方が訪れて下さいました。



遠藤家

開催期間中たくさんの“お宝”を発見しましたが、紙面の都合上細かくお伝えできないので、感動したことを忘れないうちに箇条書きにしてみます。

- 岩滑の方々が黙々とボランティア活動する姿に感動
- りんりんのメンバーの気転の効いた身ごなしに感動。  
考えてみたら彼女たちはプロのヘルパーでした。
- 一緒に仕事をするとその人がとてもよく解る、という発見。
- 離れの家を相続された遺族の方が、「家にあるものは全部捨ててよいです」とおっしゃった中から、なんとたくさんの“お宝”を発見したことでしょう。“ごみ”か“お宝”か、人生すべてに目利きが肝要。  
離れの家はまさしく“お宝”の山!
- 開催期間中120人程のボランティアさんが手弁当で協力して下さいましたが、たくましくも優しい平均年齢70歳?の女性達の中で、23歳の竹内君が一日お休みした以外、全力疾走したことも“お宝”発見でした。
- 人生経験豊かな、おじさん・おばさん達と竹内君のような若者が交流する場所になると思えたのもまた発見でした。

理事長 村上真喜子

# りんりん作品展開催

秋分の日の9月23日、空も一層の青みを増した秋晴れの日、りんりん恒例の作品展が開かれました。

この時期、200万本の彼岸花が矢勝川の土手を真っ赤な帯になって彩りますが、今年はそれほどの勢いはありません。「台風による強風で茎が折れたようですね、でも次の花ができていますよ」と花にカメラを向ける人……。厳しい暑さの中でも確実に季節はめぐっているようです。

この日は名鉄ハイキングイベントの日です。りんりんの作品展会場では、さをり織り・絵てがみ・小物づくりの作品の展示・体験コーナー・手作り小物の販売など。りんりん茶屋では、うどん・飲み物など平日の2倍以上のお客様があり、テントではフリーマーケットが開かれています。衣類・食器などのほか子供向けの消しゴム・メモ帳・弁当箱などもこまごまと並べられ大人も子供も買い物を楽しんでいます。名古屋や瀬戸からのリュックを背負った人たち、家族づれなどが次々と立ち寄っていきます。

体験コーナーのさをり織りは、今までよりさらに糸の種類が増え、ストラップ・かばん・スカートなど作品にも変化ができました。さをり織りに挑戦した中1と小4の姉弟は、織り上がった作品を二人で協力して仕上げました。

絵てがみも所狭しと並べられ、どれもユニークで見ている飽きません。横長の大きな紙には、なす・ピーマン・かぼちゃが書かれた絵のそばに「今年も暑いのが、暑くて暑くて真っ赤になってしまった。う〜んわしは、日焼けして黒くなってしまったわ。もうすぐ秋なすなるのう」と書かれ、なかなかユーモラスです。「絵てがみは、ちょっとした言葉で相手への気持ちが伝わるので、年を重ねてからこそさらに役に立ちますよ」と絵てがみの岸野先生は、話されます。

小物づくりの作品は茶巾バッグ・ポーチ・リュックなど落ち着いた柄で作られたいていねいな手仕事の品です。また90歳代と80歳代の方が作られた木目込み細工の額やバッグも並べられ、その出来ばえに感嘆のしきりです。

今回は絵てがみもさをり織りも大人より子供さんの体験が多く「どちらもすぐに出来上がるので達成感を感じる事が出来るのでしょうか」と係の人のお話でした。

作品展は準備段階からたくさんのボランティアさんのお手をお借りして当日を迎えました。どなたも快く動いてくださり、会場の雰囲気を一っそう盛り上げてくれました。



◀小物



◀絵てがみ



◀小物



◀小物の販売

▶りんりん茶屋



▶子供のフリーマーケット

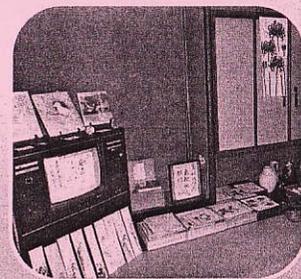


▶フリーマーケット



## 遠藤家

▶遠藤家の色紙、たんざくなど



▶さをり織り



▶威子さんのきものなど

